

アクセス



周辺エリアとのアクセス(参考)

● 新大阪まで	約17km	阪神高速経由で約25分
● 伊丹まで	約20km	阪神高速経由で約33分
● 関西国際空港まで	約47km	阪神高速経由で約37分
● 新神戸まで	約30km	阪神高速経由で約35分
● 京都市内まで	約63km	第二京阪経由で約55分
● 奈良市内まで	約43km	第二阪奈経由で約45分

大阪南港(トレードセンター前駅)から2駅なので、船でのアクセスも抜群!

関西で55年ぶりに
万博開催!

2025年 大阪・関西万博 教育旅行のご提案

開催期間 2025年4月13日(日)~10月13日(月) 184日間



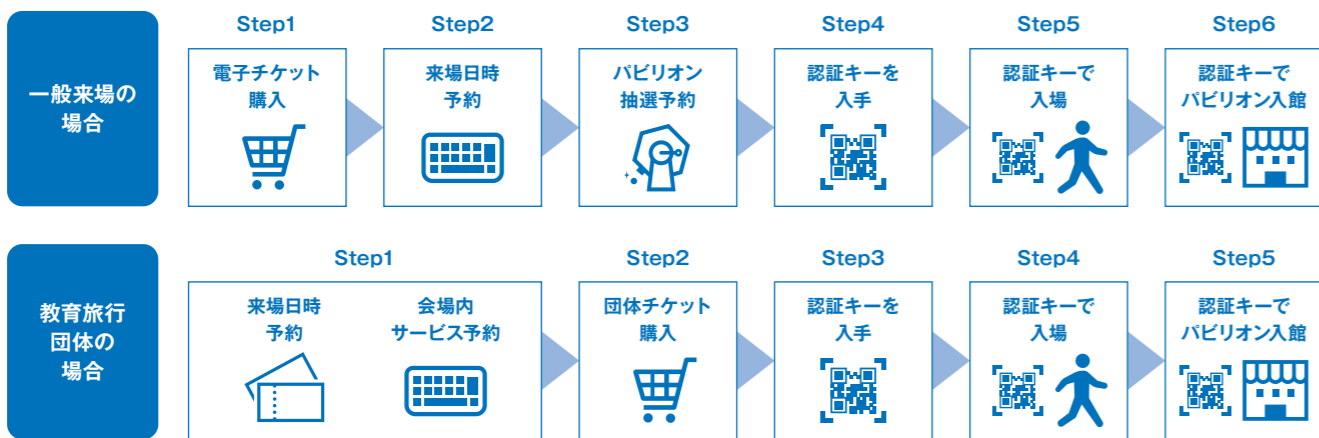
教育旅行ではチケットもお得!

学校団体に割引チケットを設定(購入の際は一定の条件*がございます)

*条件については、入場券制度公表後に詳細案内予定

チケット購入~予約~入場・入館までの流れ

*詳細は制度公表後、協会HP参照又は、販売委託事業者にお問い合わせください。



大阪・関西万博公式キャラクター
ミヤクミヤク

テーマ

いのち輝く未来社会のデザイン
(Designing Future Society for Our Lives)

サブテーマ

いのちを救う (Saving Lives)
いのちに力を与える (Empowering Lives)
いのちをつなぐ (Connecting Lives)

コンセプト

未来社会の実験場 (People's Living Lab)

開催場所

大阪 夢洲 (ゆめしま)

五感を使って
世界を体感!



公益財団法人2025年日本国際博覧会協会

〒559-0034 大阪市住之江区南港北1丁目14-16(大阪府咲洲庁舎43階)

TEL:06-6625-8651 <https://www.expo2025.or.jp/> 2025 万博



各種SNSでも
最新情報を
随時発信!



@expo2025_japan



@expo2025japan

教育旅行情報は
HPにて掲載。
Q&Aについても
随時更新予定。
*教育旅行HPは
3月開設予定。



@expo2025japan



@Expo2025Japan



全国の学校の先生方へ

—2025年の学校行事ではぜひ、大阪・関西万博へのご訪問をお願いいたします—

2025年日本国際博覧会(略称「大阪・関西万博」)が、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、2025年4月13日から10月13日までの183日間、大阪市の人工島「夢洲」で開催されます。

登録博覧会としては2005年愛・地球博以来20年ぶりの日本開催となる今回の万博は、次世代を担う子どもたちにとって絶好の学びの場になるものと考えています。

現在、世界では、新型コロナウイルスやウクライナでの戦禍により多くの貴重な命が失われ、将来への不透明さが増えています。

こうした中で、大阪・関西万博は、「いのち」をテーマに、一人一人が望む生き方を考え、それぞれの可能性を最大限に発揮できる社会の実現と、国連が掲げる2030年までのSDGs(持続可能な開発目標)達成に向けたプラットフォームとなることを目指すものです。

各パビリオンが提供する「いのち」を考える参加・体験プログラムに参加することや、SDGs達成に向けた先進的な取組や社会システムに触れることで、これからの未来を担う子どもたちに、今後の行動変容につながる貴重な経験ができると考えています。

また、大阪・関西万博では、万博会場を新たな技術やサービス、システムなどを実証する場「未来社会の実験場」と位置づけ、「スマートモビリティ」「デジタル」「バーチャル」「アート」「グリーン」「フューチャーライフ」といった分野で社会実装に向けた様々なチャレンジが展開されます。

こうした最先端の技術に触れることで未来社会を体感することができると思います。

さらに、今回の万博には世界から150を超える国や国際機関の参加が予定されています。

様々な国の文化・価値観に触れ、五感を使って体験することで多様な世界を理解し、感じる事ができる最高の機会となると思います。

以上のことから、大阪・関西万博での体験は、子どもたちにとって、将来の社会や自分を考える契機になり、新学習指導要領が求める探究学習に大いに寄与するとともに、大人になってからも忘れ得ぬかけがいのない思い出となるものと確信しております。

このため、2025年に予定されます修学旅行や校外学習、遠足などには、是非とも「大阪・関西万博」を行程に組み入れていただきますようお願い申し上げます。

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会
会長 十倉 雅和

大阪・関西万博アンバサダー

山中 伸弥 氏

京都大学iPS細胞研究所 名誉所長、公益財団法人京都大学iPS細胞研究財団 理事長



この度、2025年大阪・関西万博のアンバサダーを仰せつかり、大変に光栄です。1970年の大阪万博のときはまだ8歳でした。「太陽の塔」や「月の石」などの展示に幼いながらも心から感動したのを覚えています。科学の「未来」というのを感じて本当にワクワクしました。その後、科学者を目指し始めたのは、万博の影響も大きかったのだと思います。今回の万博でも、次世代を担う子どもたちにとって素晴らしい刺激になることを願っています。



子どもたちの五感を刺激する
大阪・関西万博は
探究学習に最適です!

世界各国から英知が集結する大阪・関西万博は、探究学習の素材・テーマ探しに最適であり、新学習指導要領が掲げる「生きる力(学びの、その先へ)」を育みます。

未来を担う
子どもたちに
体感してほしい
ポイント

SDGs達成への 取り組みを体感

SDGsが達成された未来の世界を描く公式参加パビリオンなど、SDGs達成に向けたチャレンジを行うことで、未来社会について考え行動し、主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)の場となります。



大阪・関西万博のテーマ 「いのち」を体感

コロナを経験した時代だからこそ、改めて「いのち」の原点に向き合う重要性が高まっています。世界各国や各界トップランナーが創出する、「いのち輝く未来社会」に向けた事業・取組を通し、学校の中で体感できない学びの場となります。



未来社会を体感

「万博」では未来の技術や商品が集まり、生活が便利になるきっかけとなります。大阪・関西万博では会場全体が未来社会の実験場となり、空飛ぶクルマをはじめ最先端技術を体感いただけます。

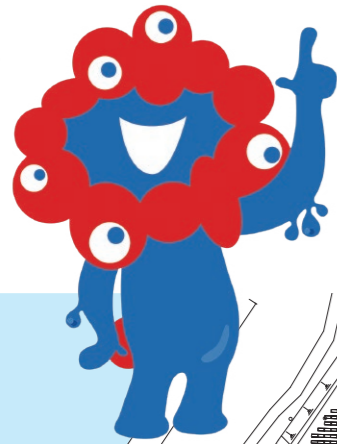
日本と世界の 文化を体感

150の国と25の国際機関によって多様な文化・価値観の交流、つながり、創造が生まれる大阪・関西万博は、子どもたちにとって、国際理解を深めると共に、日本の魅力を再発見する場となります。また、生き方や価値観の多様化する国際社会の在り方について考えます。



会場イメージ

会場全体でみせる
いのち輝く未来社会の
デザイン



フライスル-
動画
30秒
ver.



フライスル-
動画
FULL
ver.

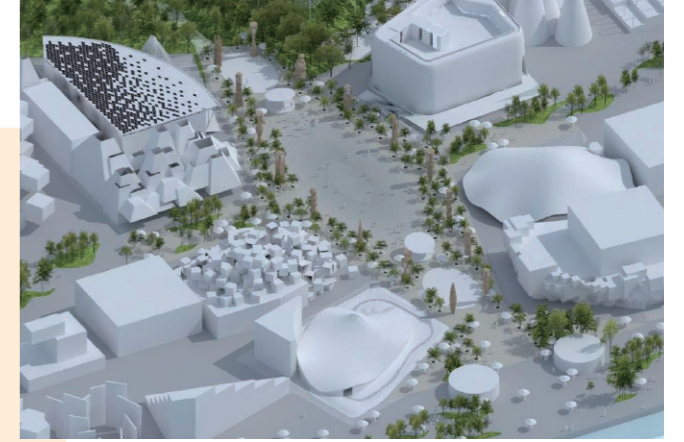


フューチャー ライフパーク

瀬戸内海を望む景観に優れたエリアを未来の街としてデザインし、未来に向けた「問い」と「提案(さまざまな視点からのベストプラクティス)」が集まる場所として構成。大阪・関西万博のコンセプトである「People's Living Lab(未来社会の実験場)」を具現化するために、リアル会場とバーチャル空間の2つを結びつけながらSociety5.0の姿を描き出す。

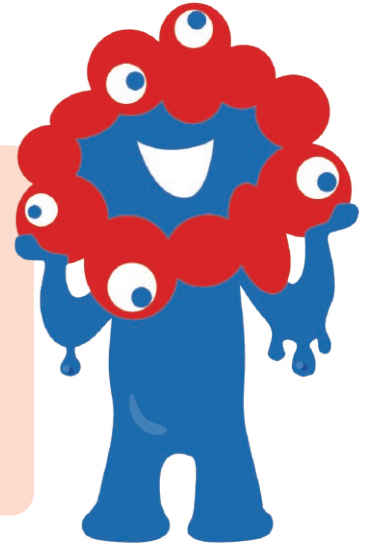
8のシグネチャー パビリオン

大阪・関西万博のテーマに掲げる「いのち輝く未来社会」の姿を立体的に描き出すために、主催者が中心となり様々な参加者と共創し、「いのち」をめぐる8つの事業を企画し、テーマが実現された未来社会の姿を会場内に創出。パビリオンワールド南側の水際から中央の「静けさの森」を結ぶラインの両側に置かれ、訪れるすべての人々が「いのち」について考え、その概念をアップデートする場所になります。



13の 民間パビリオン

日本経済をけん引し、進むべき道筋を提案する13の企業・団体が、大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」に沿って工夫を凝らし、個性を活かした展示や演出を行うことにより、来場者に未来社会を体験してもらい、感動と共感を与えます。



世界150ヶ国の パビリオン

サブテーマ
「Saving Lives(いのちを救う)」
「Empowering Lives(いのちに力を与える)」
「Connecting Lives(いのちをつなぐ)」
に対応する形で、会場全体に3つのゾーンを設定し、公式参加パビリオンを配置。世界各国の公式参加者は、サブテーマ及びSDGs 17Goalsのいずれか1つ以上を選び、それぞれの立場からSDGs達成に向けた優れた取組を持ち寄り、会場全体でSDGsが達成された未来社会の姿を描きます。



大阪パビリオン

オール大阪の知恵とアイデアを結集させ、訪れた人々が「いのち」や「健康」、近未来の暮らしを感じられる展示を実現するとともに、大阪という都市の活力・魅力を世界のより多くの人々に伝えていきます。誰もがわくわくしながら、驚きや新たな発見に満ちた感動が味わえるとともに、体験や共創を通じて、深く心に記憶され、新たな行動につながるようなパビリオンをめざします。

日本館

「いのちと、いのちの、あいだに - Between Lives -」をテーマに、人間は循環の中で生かされている存在であることに気づき、SDGsに代表される社会課題を「自分ごと」として認識する契機となるような展示・体験を提供します。また、万博会場内の生ゴミを利用したバイオガス発電や、日本の先端的なCO2リサイクル技術等を活用し、日本館において一つの循環を創出し、持続可能な社会に向けた来場者の行動変容を促します。

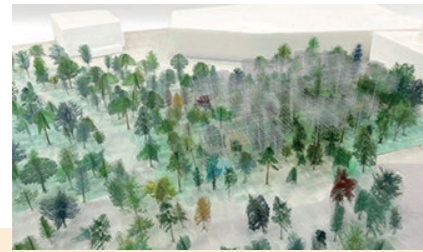


関西パビリオン

中心に関西全体の展示を置き、それを囲むように各府県の展示を配置。最大12メートルの高さを生かした展示や、壁などに映像を投影するプロジェクションマッピングを行うことを検討。万博来場者へ、関西各地へのゲートウェイとして魅力を伝えていきます。

シグネチャーパビリオン

各界で活躍する
8人のプロデューサーが描く
未来のデザイン



いのちを響き合わせる Co-being

宮田 裕章
個性あるいのちのちを響き合わせ、「共鳴するいのち」を共に体験する中で、一人ひとりが輝くことのできる世界の模式図を描く。



© SANAA



いのちを拡げる いのちの未来

石黒 浩
新たな科学技術で人や生物の機能や能力を拡張し、いのちを広げる可能性を探求する。



© FUTURE OF LIFE / EXPO2025



いのちを高める いのちの遊び場 クラゲ館

中島 さち子
遊びや学び、スポーツや芸術を通して、生きる喜びや楽しさを感じ、ともにいのちを高めていく共創の場を創出する。



© steAm Inc. & Tetsuo Kobori Architects All Rights Reserved.



いのちを磨く null²

落合 陽一
自然と人工物、フィジカルとバーチャルの融和により、自然と調和する芸術の形を追求し、新たな未来の輝きを求める。



© 2022 noiz All Rights Reserved



いのちを知る いのち動的平衡

福岡 伸一
生命系全体の中にある私たちのいのちの在り方を確認する。



© Dynamic equilibrium of Life -I am You- / EXPO2025



いのちを育む いのちめぐる冒険

河森 正治
宇宙・海洋・大地に宿るあらゆるいのちのつながりを感じ、共に守り育てる。



© 2022 Shoji Kawamori/Office Shogo Onodera, All rights reserved.



いのちをつむぐ EARTH MART

小山 薫堂
自然と文化、人と人とを紡ぐ「食べる」という行為の価値を考え、日本の食文化の根幹にある「いただきます」という精神を発信する。



© EARTH MART / EXPO2025



いのちを守る いのちのあかし

河瀬 直美
危機に瀕し、人類は「分断」を経験する。「わたし」の中の「あなた」を認めるいとなみの行方に、多様ないのちが、それぞれに、護られてゆく未来を描く。



© LESLIE KEE

民間パビリオン

日本経済をけん引する
13の企業・団体が示す
未来社会



教育プログラムのご紹介

万博やSDGsの学習にご活用ください!



教育プログラムとは

次世代を担う子どもたちが「万博」や「SDGs」について学び、大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」の実現にむけたアイデアを考え発信するとともに、2025年には実際に万博会場へ行きたいとなるよう興味関心を高められるプロジェクトです。

対象

小学校5・6年生 / 中学校全学年 ※その他の年齢の児童・生徒も参加いただけます。

内容

- 学校の教員が専用教材データを使い、総合的な学習の時間(約10時間)で万博とSDGsについての授業を実施。
- 3時間程度で実施できる内容に再編した「簡易版教材」をあわせて提供。
- 企業のSDGsの取り組み内容を学んだり、「いのち輝く」とはどのようなことか自らの体験など身近なところから考える。
- 自分たちの考えたアイデアを、ポスターやプレゼンなどの成果物としてまとめあげ、広く発信。

実績と成果

これまでの実績

年度	参加校数	中学校	小学校	実施地域
2020	14校	5校	9校	大阪府
2021	50校	16校	34校	関西圏
2022	119校	58校	61校	日本全国

質問に対して、「できる」と回答した割合(2021年度)

質問	小学生		中学生	
	事前	事後	事前	事後
大阪・関西万博はどのような万博をめざしているのか説明できる	25.4%	⇒ 51.7%	7.1%	⇒ 47.8%
SDGsに対して、自分なりの考えを説明できる	61.2%	⇒ 88.3%	38.4%	⇒ 74.5%



※教材イメージ